

秋葉区展最優秀賞・芸展奨励賞 受賞して

井浦 白濤

この度は第18回秋葉区美術展にて最優秀賞・第52回芸展にて奨励賞を頂き誠にありがとうございました。これも菅井先生の熱心なご指導と書道会の諸先輩方のお力添えの賜物です。本当に心より感謝申し上げます。私自身、小学4年生より書道をはじめ、現在に至るまで約20年近く、菅井先生の下ご指導いただいて、本当によかったと思っております。

私自身日々、作品を仕上げる中、菅井先生や書友の皆様より多大なご指導いただき、試行錯誤し、なんとかできた作品だった為、非常にうれしく思っております。

今回の作品は明・清調で普段、自分自身書きなれている手本を選んだのですが、締め切りのぎりぎりまで「墨つぎ」「迫力」など、改善する課題が沢山あり、頭を悩ませました。その時の菅井先生の的確なアドバイスや黒手本の効果は絶大でした。菅井先生には感謝しかありません。今回の受賞を通して、やはり書道というのは非常に奥が深い！という事、まだまだ作品錬成をする中で、「字を知らない」「自分の思ったように工夫して書けない」「菅井先生のような斬新なアイデアがない」など、今後も課題が山積みです。でも「作品と向き合う中で、錬成していて心から楽しい！」この気持ちは変わることはないですし、分からないことがあれば優しく教えてくださる諸先輩方いる事、本当に恵まれた環境の中で書けていることも私自身を今後、成長させていただけるのではないかと思います。

そして、芸展について今回の受賞で会員昇格となるため、さらなる良い作品を書かなければいけないというプレッシャーの中、受賞の恥じぬ、見てくれる人の心に残る・感動してもらえるような今後も作品錬成を書き進めたいと思います。

最後に今後もひたむきに書き、受賞を励みに、さらに書に精進したいと思いますので、若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

※ 本部からのお知らせ  
1月号より玄和誌(本代・審査料・出品料含む)¥800になります。